

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名	トレーニングルームインストラクター配置事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	教育委員会	課長名 高木 敏明
	施策	20	生涯学習の推進	所属課	生涯学習課	担当者名 中山 あや
	基本事業	70	生涯学習・スポーツ施設(環境)の整備	所属班	スポーツ振興班	(内線) 1505
				法令根拠		

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	6
	1	10	6	2	10843			コスト削減優先度評価結果	9

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 平成7 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
・安全にトレーニング器具を活用した健康・体力づくりの指導を行うためトレーニングインストラクターを配置する

【業務の流れ】
・インストラクターの退職に伴う新インストラクターの任用業務
・インストラクター報酬の支払い業務

【主な予算費目】
・報酬

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)	
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)	20年度と同じ	
インストラクター4名を配置し、利用者に対する指導、助言、機器の点検、清掃を行った。		
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	
	→ ア:開室日数	日
	イ:	
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	
市民	→ ア:市民	人
	イ:	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	
トレーニングルームを利用する	→ ア:利用者数	人
自分の目標とする「テーマ」毎にトレーニングできる	イ:体力測定者数	人
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)	
活動する場がある	→ ア:学習・スポーツに親しむ施設が整っていると思う市民の割合	%
	イ:	

(2) 総事業費・指標等の推移											
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円							全体計画 ~ 年度	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	5,643	5,249	5,300	5,497	5,695	5,695		5,695
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	1,089	1,459	1,408	1,211	1,245	1,245		1,245
	(A) 事業費計	千円	6,732	6,708	6,708	6,708	6,940	6,940	6,940		総 トータル コスト (期間 限定 複数 年度 のみ 記載)
	うち指定経費	千円									
	ひら時間外、特殊勤務手当	千円									
	人件費										
正規職員従事人数	人	2	2	1	2	2	2	2	2		
延べ業務時間	時間	80	80	80	25	25	25	25	25		
(B)人件費計	千円	318	318	318	100	100	100	100	100		
トータルコスト(A)+(B)	千円	7,050	7,026	7,026	6,808	7,040	7,040	7,040	7,040		
活動指標	ア:日	295	290	290	292	295	295	295	295	目 標 合 計 値 画 22 年 度	
対象指標	ア:人	53303	53909	54518	54518	55124	55732	56281	56281		
成果指標	ア:人	20100	19690	19600	20702	21000	21000	21000	21000		
上位成果指標	ア:%	162	104	110	95	100	100	100	100		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
平成7年度VIEWフル開館と同時に機能の充実を図るために開室。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
設置しているトレーニング機器も設置当時からのものは経年劣化のため随時入れ替えを行い充実したものになっている。
インストラクターの入れ替わりが早く人材確保に苦慮している。
利用者も専門性、ステイタスを求める上級者も増え機器やトレーニングに対する要望も専門的になってきている。
合併後は旧西合志からの利用者も増えている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
利用者からはインストラクターの接遇に対して苦情があることもあった。
議会(常任委員会)からはインストラクターが辞めていく理由として業務に対して給料が安いのではないかと指摘されたこともある。

事務事業名	トレーニングルームインストラクター配置 事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	---------------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 意図のトレーニングルーム未利用者の掘起こしを行い、利用者の目標とする「テーマ」毎にトレーニングできることにより、結果の活動する場があるに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ トレーニングルームという専門性を考えると、民間企業のノウハウを取り入れた指定管理者制度の導入も考えられる。 その際は、サービスの低下をまねかめよう慎重に進めるべきである。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象、意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ もっとPRを行えば利用者数は向上する。 曜日によってまた、昼・夜で利用者数にばらつきがあるので、少ない時間帯の向上を考える。 新規利用者を中心に定期利用の促進やプログラム指導など適切なサービスを行えば成果は上がる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 今まで利用していた人の活動の場がなくなり、運動していた人がしなくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒【理由】⇒ (具体的な手段、事務事業) 指定管理者制度 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ トレーニングルームの運営を指定管理者制度に移行する。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 現在嘱託職員4名で運営しているが、安い報酬なのでなかなか永く続けてもらえない。 指定管理者制度に移行すれば、今以上のサービスを提供しながら、事業費を抑えることができるかもしれない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ アウトソーシングなら今以上のサービスを提供しながら、人件費を抑えることができるかもしれない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ インストラクター4名の年間報酬と、トレーニングルーム年間収入の額はほぼ等しい。 しかし、賃金の値上げ等見直す余地はある。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	①～④について ・トレーニングルームという専門性を考えると、民間企業のノウハウを取り入れた指定管理者制度の導入も考えられる。 その際は、サービスの低下をまねかめよう慎重に進めるべきである。 ・インストラクターの資質向上のため研修を行えば、さらによい。 ・現在の労働条件では資質をあげるには限界がある。 ①1年契約 ②賃金が安い、ということからインストラクターの入れ替え

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 目的再設定・事業統廃合・連携→指定管理者制度の導入を検討する。 有効性改善→合志市トレーニングルームのPRを行う。広告や設備内容の充実。インストラクターによるプログラム指導など。インストラクターの資質の向上のために、年数回設置機器メーカーとの勉強会を行う。 効率性改善→インストラクター報酬額の再考(県内類似施設調査)を行う。アウトソーシング。	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	○		維持			低下			
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上	○																		
	維持																			
低下																				

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

インストラクターの定職化(報酬の増額、勤務時間等) 指定管理者制度の導入

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	1	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	1	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)